

事業番号	0014	事業名	検察総合情報管理システムの運営
------	------	-----	-----------------

外部有識者の評価結果
------------

1 廃止	0
2 事業全体の抜本的な改善	1
3 事業内容の一部改善	5
4 現状どおり	0

## 【事業全体の抜本的な改善】

- 国家安全保障の観点からは、価格を重視する競争入札方式は必ずしも好ましくない。むしろ、当該観点で審査し選定した業者と随意契約してもよい。ただし、随意契約において価格交渉は当然である。  
システムについて、バックドアのリスク回避等、国家安全保障の観点から検証すべきである。  
(抜本的改善は、予算の縮減を求めるものではないことを付言する。)

## 【事業内容の一部改善】

- 業務アプリケーションシステムの入札についてはPDCAサイクルを回すべきである。具体的には、入札説明会に参加した4者のうち、入札に参加しなかった3者に理由をヒアリングし、それを次回の入札条件に活かすことが必須である。
- 一者応札となる仕組の解消方法の検討。  
ハードウェアの仮想化による費用削減。  
システム全体の見直しを。
- プログラム保守に関する内訳に納得できない部分が残る。  
基のプログラムの構築経費16億円に対し、年間3億円の保守費は異常である。  
メンテナンスしやすいシステムを新規構築するのが妥当。  
また、メンテナンス委託業者は習熟効果がある(リスクが少ない)ので、もっとコスト削減が可能なはず。
- 引き続き複数者応札となることを目指した施策が必要と考える。  
システム・機器とも年々陳腐化していくものであるため、少なくとも年一回は在るべき最適なシステムとの比較で、どの程度かい離が生じているかの検証をすべきである。
- 当該システムが日本のため必要かつ重要であることに異論はない。しかし、そのコストについてはなお検証の余地があると思われる。  
ハードウェアの構成、保守の在り方、コスト低減の在り方など、レビューで出た意見を踏まえて御検討いただきたい。